

東海村文化祭2021開催

理事長 棚井 哲雄

文化祭開催の趣旨は、『新型コロナウイルス感染の影響により住民活動が制限される中、コロナ対策が可能な範囲で文化的な発表機会を設けることとし、地域の活力を取り戻すことを目的とする』として東海村文化祭2021が開催されました。

開催するにあたりまして前に各文化団体に参加の可否を確認しました結果、41団体のうち参加希望39、不参加2ということでの開催となりました。

不参加の理由としましては2団体とも芸能関係で、このコロナ禍で練習ができなかった。大きな掛け声が必要な表現の為、それができないので今回は見送りと言うことでした。

去年もコロナ禍が懸念された時期でしたので、特別な秋として文化祭史上初めて分散型で開始されました。開催することに意義があると言う事で、これも勉強にはなりましたが、今年は元の東海村総合体育館で文化団体の展示部門が一同に展示することが

でき、東海村の文化向上においてまとまることに大きな意義があると感じました。

会場は換気を良くするという事で、パネルも穴あきを使用したり、土足で会場にそのまま入れる様にしてたり、また人の流れを良くするためにいつもよりスペースを広くしたりと、いろいろ工夫を凝らしました。今年はずっとより早い開催の10月29日～10月31日となり、多少盛り上がり欠けた感と、連盟の会員の作品が年毎に小さくなり、さらには彫刻作品がゼロとなり少し寂しい感じとなってしまいました。

ここに来て、コロナ禍はかなり落ち着いてきたようですが、まだまだ先が見えない状況です。こんな時こそ一心に作品作りに、お互い頑張りましょうと言いながら自分にもはっぱをかけています。ちなみに今年の文化祭参加者は一般参加の2名を含めて45名でした。



連れだって、熱心に観てくださる人も



今年は穴あきパネルを使用、受付用の机もなしで椅子に目録とパンフレットを置いた

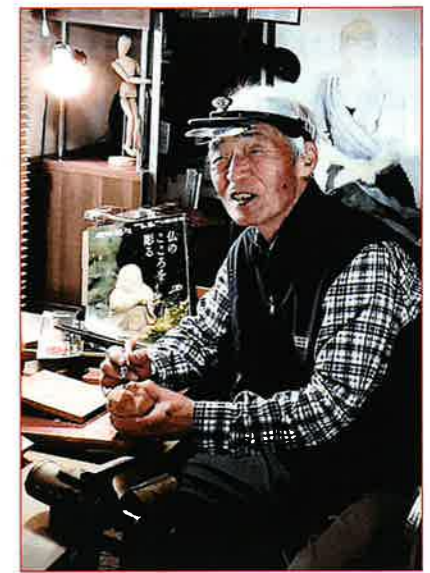


北支部 番場 正男さんに Tea タイム

- 絵を描こうと思ったきっかけは？
△ 約60年前の社会人になりたての頃、M美大の通信教育を受講。当時の白黒の教材で意欲が半減、半年で退学。在職中出張等でルーブル4回、オルセー美術館等で観た巨大な絵の素晴らしさと、描いた人の気力とテクニックに圧倒されました。
退職した67歳から事始めで、カルチャースクールの水彩画通信教育を15年。美術連盟の「日曜教室」や「あさぎ色の会」を継続中です。
- 今年の新構造展優秀賞の作品「朽ちてゆく」はどのような思いで描かれましたか？
△ 「水戸東照宮」につながる宮下銀座のアーケード街、(今は昭和レトロ感ただよ居酒屋やバーが多い)の南側をたまたま通り、廃墟に近いビル群を目にしました。一瞬、読みかけのドキュメント本の「JCO 臨界事故」でのOさん、Sさんの「・・・朽ちていった命・・・」なる言葉が浮かび人も物も最後は「朽ちてゆく」ものと思いました。これを見て、モチーフにぴったりではないかと思いました。
「ホキ美術館」の細密画に感動。及ばなくても近づくようにと思っています。
- 健康面で何か気をつけていることや、実践していることは？
△ *フレイルを避けることはできませんが、知力・体力・気力を継続し、ピンコロが私の理想。何時までも自分の足で立つための筋力強化でゴルフ、ウォーキング、ジム通いと探求心の維持を大事にしています。

- コロナ禍で生活が変わってしまいましたが、何か思うことは？
△ これまでの趣味のDIY(アドバイザー資格)や絵・俳句を継続中で、巣ごもり生活でも退屈はしませんでした。今度新たなる挑戦で三人の孫へのプレゼントに「わらべ地藏」の仏像彫刻を始めました。でも、やはり早く平常の生活に戻りたいですね。

※フレイル：加齢により心身が老い衰えた状態
※DIY：自分自身でやる



お孫さんにプレゼント。「わらべ地藏」の仏像彫刻する番場さん

Information

2022			
北沢努の木とブロンズの風景彫刻	11月16日～1月16日	常陽史料館企画	【北沢】
子ども芸術祭	12月4日,5日	文化センター	【東海村文化協会主催】
ジュディ小品展	12月4日～12月10日	笠間ギャラリー せらぎ	【中田、木梨他】
東海村の作家展2022	1月8日～1月16日	東海ステーションギャラリーA	【県美術展覧会東海村作家】
アートロードキックオフ/東海美術連盟新年会	1月22日	村松コミセン会議室	
第34回アートロード東海ステーションギャラリー展			
(絵画・彫刻・工芸・華道)	2月6日～2月12日	東海ステーションギャラリーA・B	【アートロード会員】
(書・写真)	2月13日～2月19日	東海ステーションギャラリーA・B	【アートロード会員】
第29回 土なかま展	2月27日～3月5日	東海ステーションギャラリーA	【北沢他】
ART FLAG小品展	2月27日～3月5日	東海ステーションギャラリーB	【加藤木他】

開催は突然取りやめになるかもしれませんので、お出掛けの際は会場、関係者にお問い合わせ願います

パレット編集員 木村・高野・塙 イラスト：高野(千) 皆様からの情報をお待ちしています。

『彫刻家山崎猛先生と東海村+彫刻散歩』講演会を終えて

副理事 佐藤 富夫

歴史と未来の交流館開館記念第1回目として『彫刻家山崎猛先生と東海村+彫刻散歩』と題し、東海ステーションギャラリー企画員・茨城大学教育学部非常勤講師、東海美術連盟会員の北沢努氏による講演会が11月7日(日)に開催されました。

彫刻家としても数々の受賞や功績・実績のある山崎先生は高萩市に生まれ、30歳で北茨城市の二ツ島公園設置作品「通りゃんせの像」を委嘱制作、水戸市出身彫刻家^{きのうちよし}の木内克氏に粘土彫造の指導を受けつつ自己研鑽もされ、ご結婚を機に東海村に住まわれたとのこと。

その後、感銘を受けた現代彫刻家ペリクレ・ファツツイニ教授に師事するため、イタリアに留学された。十数年後作家としてデビューし意欲的に作品制作に取り組むことに併せ後進の指導・育成には特に尽力されて行動的だった事柄も紹介されました。

先生の作品制作中の粘土の盛り付け作業や留学中の思い出の話、奥様との作業等とても貴重な動画を観させていただく機会ともなりました。

村内では恩師木内克氏の作品「鬼の首」が確認されたことを機に、新人彫刻家育成を目的として3回に亘り開催された「木内克大賞野外彫刻展」。駅東の作品「エーゲ海に捧ぐ」の設置等々、東海美術連盟、アートロードにも所属し、東海村の芸術文化に大いに寄与され、偉大な山崎先生の足跡を知る講演でした。

講演後には「ふれあいの森公園」に設置されている野外彫刻展等の解説を聞きながら、最後に鑑賞したのは山崎猛作「ふれあい」の像、この講演会の締めくくりでした。

紹介された以外にも優れた作品が村内各所に設置されており、貴重な村の財産として未来に残すため「彫刻洗い隊」の活動の紹介もありました。

講師の北沢氏は山崎先生の意志を継承するため、自らの作品制作に取り組みつつ、平成11年度から「蠟型ブロンズ講座」を立ち上げた経緯についても話され、恩師に対する深い敬愛の念が感じられる素敵な講演会でした。



生涯学習課の要請を受けて講演する北沢氏



山崎先生、ご自宅のアトリエでの作業風景の動画



彫刻散歩では作品の説明する北沢氏



最後は文化センター駐車場の山崎先生「ふれあい」の像で



公募展だより

令和3年度茨城県芸術祭美術展覧会入賞・推挙・入選おめでとう!

10月2日～10月17日(茨城県近代美術館)



洋画 鴨志田 範夫 ヴェネツィア



木村 隆 支える



優賞 柴田 伊久代 揺らめく



豊島 和久 秋の深山



栗原 豊 茶藨苔の谷



齋藤 七重 ZASHIKIWARASHI IN Tokyo



山崎 克一 想う

日本画



川崎 志保 蒼の芍薬

彫刻



会友推挙 鈴木 しのぶ 夢みる頃



井坂 咲子 岐路に立つ



関根 幸雄 沖縄の女



鈴木 綾子 わんぱく息子

☆会友以上の方は紙面の関係で、作品掲載は割愛しております。一般入選、入賞作品と推挙、入賞の方のみを掲載しています。ご了承ください。